

桜井民報

編集・発行：日本共産党桜井市委員会
桜井市粟殿588-7 吉田ただお事務所
☎/FAX:0744-46-4930
ホームページは以下検索して下さい

日本共産党市会議員吉田忠雄

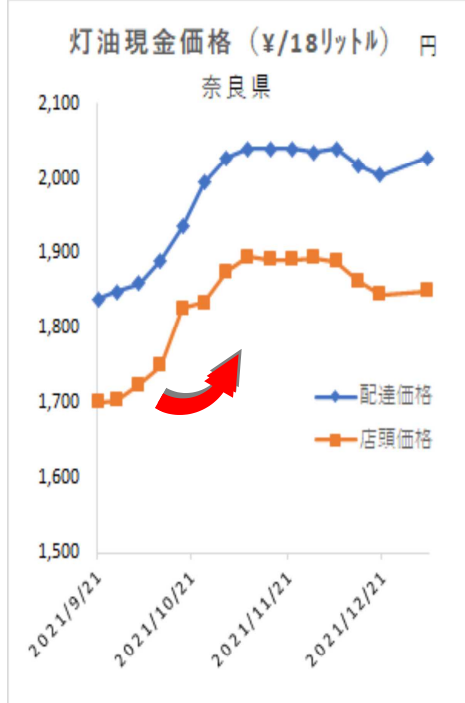


吉田ただお 12月議会報告 2022年 2月号 No, 85号

生活困窮世帯対象に 福祉灯油助成事業の実施を

いあいさつ
 新型コロナウイルス感染症拡大が長期化するなかで、失業や休業、倒産、廃業、そのうえ物価の高騰で、市民の生活が脅かされています。今年も市民の暮らしを守るために、全力で頑張ります。

12月議会が12月1日から20日迄の20日間の日程で開催されました。今回の一般質問は、①福祉灯油助成事業の実施について、②倉橋ため池におけるワカサギ放流事業の2点について松井市長を質しました。

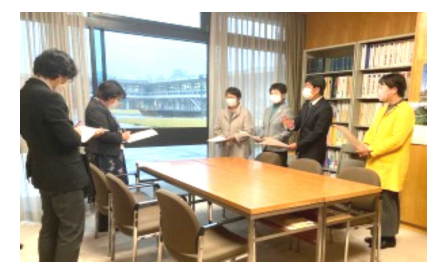


吉田議員
 新型コロナウイルスの感染拡大が長引き、外出の自粛で在宅時間が増え、今までは以上に暖房費の負担が増えている。そのうえ、原油が高騰して灯油の大幅な値上げは、ただでさえ苦しい家計を直撃している。

セイフティネットとはどうか

こうしたなか、セイフティネットとして生活困窮世帯を対象に、福祉灯油助成事業を実施してはどうか。

松井市長
 全国的に見ても福祉灯油助成事業をおこなっている市町村は、寒冷地のため灯油の使用料が多く、灯油代が生活に大きく影響する地域がほとんどである。国では新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にある方の暮らしを支援することを決定している。市として福祉灯



県に福祉灯油の実施を求める日本共産党奈良県議員団（11月22日）

油事業の実施は検討していない。

吉田議員
 今、コロナ過でひとり親家庭の貧困、所得の少ない高齢者世帯や失業などで女性の貧困も増えている。働きたくても働けず、食費さえ切り詰めているなかで、1缶1800円（9月中旬時点）もの高額な灯油負担は大変である。全国的にも65歳以上の高齢者世帯、重度障害者世帯、現金給付や地域商品券の交付などをおこなっている。市でも福祉灯油事業を実施すればどうか。

**1缶1800円
もの負担は大変**

総務省HPより
 総務省としては、地方自治体が行う生活困窮者に対する灯油購入費の助成といった原油価格高騰対策に要する経費に対し、特別交付税措置を講じます。

（1月12日、金子恭之総務相 報告）
 「本日の閣議前に原油価格高騰等に関する関係閣僚会合において、総務省の対応について報告いたしました。地方自治体が、生活者や事業者の支援に不安なく取り組めるよう、財政支援をしっかりと行ってまいります。詳細は、自治財政局にお問い合わせください。」

松井市長
 引き続き、情報収集しながら、研究をしてまいります。

吉田議員の質問後、も灯油高騰が続く中、四国などでも非課税世帯に対して、灯油購入費への助成事業を実施しています。徳島県では、24市町村のうち17市町村で予定されています。

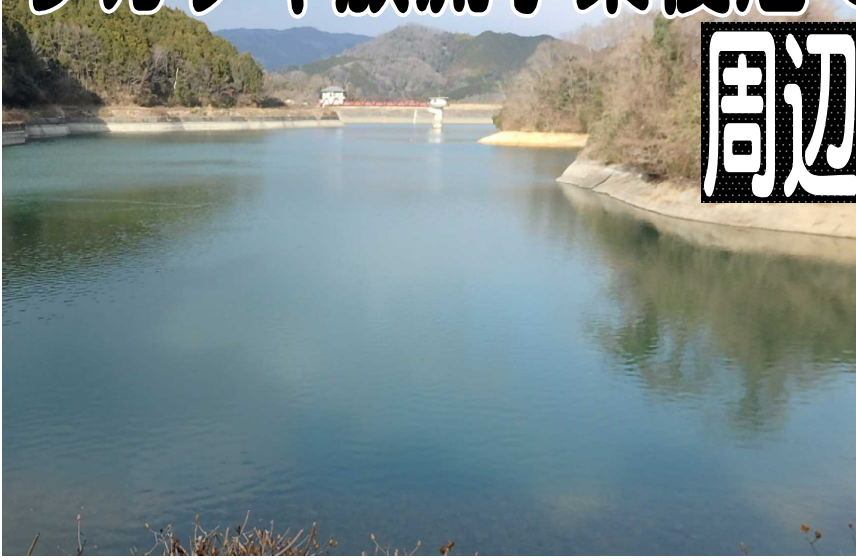
（右* 美馬市）
 左の金子総務相の報告を受けて、生活困窮者に対する灯油購入費の助成を実施する市町村が増える

年末には1900円を超えることも・・・

- * 徳島県美馬市
- 対象**
- ① 生活保護受給世帯
 - ② 高齢者世帯
 - ③ 障がい者世帯
 - ④ ひとり親世帯
- （②④は令和3年度市町村民税非課税世帯）
- 助成金額**
 1世帯あたり
 2,000円
- 申請期限**
 令和4年3月31日（木）

ワカサギ放流事業復活で倉橋ため池と

周辺の地域資源の有効活用を



吉田議員

桜井市には纏向遺跡など貴重な歴史文化遺産をはじめ、自然豊かな環境が残されており、これらを有効活用することにより、地域づくりや観光に繋げていくことができる。

しかし、市全体における観光客数は横ばいで推移している。前回の質問で倉橋ため池を地域資源として有効活用し、かつておこなっていたワカサギ釣りを復活してはどうかと市長を質した。

その後、事業をおこなうための具体的な調査・研究をおこなっているのか尋ねたい。

調査・研究は

おこなっていない

松井市長

ワカサギ放流事業の検討をおこなった結果、池の水を抜いて外来種の駆除をする必要があるのと、棧橋等の設置にも膨大な費用がかかることもあり、また、優先すべき課題が多くあり、事業化ができる状況にないことから、調査・研究はおこなっていない。

事業の中止ではなく、引き続き調査・研究を

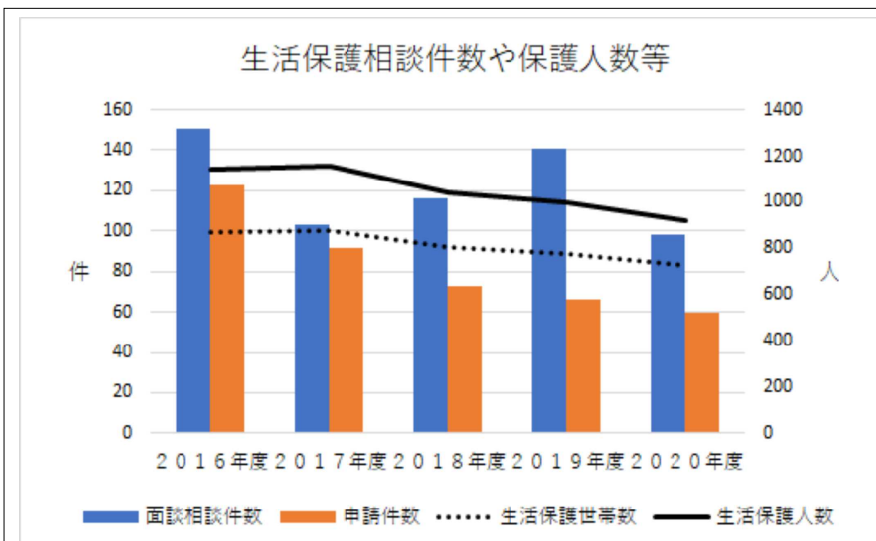
吉田議員

市がどんな事業をおこなうにも、財政的な課題がついてくる。都市公園整備も財政的な事情で止まっている。纏向遺跡のガイダンス施設の建設も、中期財政計画で5年間先送りされている。私は以前

の議会で施設の建設の再開まで、他団体の類似施設の研究をするなど、再開に向けて万全の準備をおこなうよう主張をした。

とまっている。ワカサギ放流事業についても、防御ネットの調査や魚卵はどこで仕入れたらよいのか、値段はどれぐらいなのかなど、外来魚にどれぐらい食われるのか、市の財政事情がよくなるまで、引

総務委員
会議案審
議(要旨)



新型コロナのなか、生活保護世帯、保護人数が減っている

令和3年度一般会計補正予算（第11号）

吉田議員

令和元年度と令和2年度の面談相談件数、申請件数、生活

保護世帯、生活保護人数について聞きたい。

数、生活保護世帯、生活保護人数は減っている。特に令和2年度は新型コロナ禍にもかかわらず減つた原因についてどのようか考えているのか。

生活保護の相談・申請・世帯・人数

	面談相談件数	申請件数	保護世帯数	保護人数
令和元年(2019)	141	66	778	1001
令和2年(2020)	98	60	730	920

(報告を表にしています)

令和2年度を元年と比較すると、面談相談件数、申請件数、生活保護世帯数や申請件数が減った要因は、社会福祉協議会やハローワークと連携して、他の制度の活用や就労支援をおこなったこと、生活保護受給者の減少については、高齢者の死亡による廃止や、就労支援による新規就労者やダブルワーク等により収入が増えたことと考えている。

村嶋福祉保健部長

松井市長

ワカサギ放流事業は大規模な事業となるが、できるだけ早い段階で事業化をしたいと思っている。他の事業のめどが立った時には、事業化に向けて検討していきたい。

生活相談は、どうぞこちらへ

桜井市市議会議員吉田ただお事務所
桜井市栗殿588-7
電話・FAX

46-4930

必ず、電話してからお越し下さい